

第41回奈良県中和病診連携の会報告

日時 : 平成30年 3月24日(土) 14時30分～17時30分
場所 : 大和高田市立病院 放射線治療棟3F 大会議室
参加者数 : 医師 22名 / 院内職員(医師以外) 8名
地域スタッフ 13名 / 合計 43名

<内容>

まず、大和高田市医師会長 中谷 晃 先生より開会のお言葉をいただきました。

【Session 1】

当院医療安全管理者 岡本千賀子 副看護局長による「事故報告の分析からみた転倒・転落防止対策～睡眠薬との関連も含めて～」では、過去3年間の報告書の分析結果を元に、転倒・転落のハイリスク患者について講演がありました。

次に、奈良県医師会理事 春日医院 春日宏友 先生より「県医師会の在宅医療への取り組み～お助けメーリングリスト～」と題して発表していただきました。メーリングリストは在宅医療を行う医師の育成やレベルアップを目的に設置されています。現在94名が登録し、手技や診々連携、診療報酬の情報交換を行っていること、今後は、在宅医療を担う人材の育成(特に重度心身障害児の在宅医)、多職種連携、県民への在宅療養の理解を深める啓発活動を予定されています。

【Session 2】

医療法人ゆうの森 理事長 永井康徳 先生より『2018年診療報酬改訂を踏まえた在宅医療と病診連携～連携の先にあるものは何か～』をご講演いただきました。

新しい医療のあり方として、治す医療から支える医療への変換が求められています。その為には多職種での連携が必要であり、チームで患者さまやご家族を支える必要があります。また、本人の意志決定支援、独居でも看取れる在宅医療、医療を最小限にすることや食支援についてご教授いただきました。

その後会場の先生方より、実際の事例をもとに質問があり、活発な質疑応答がありました。

今後も、奈良県中和の病診連携を推進していきたいと思っております。お忙しい中、多数のご参加有り難うございました。



次回、第42回目の開催は7月21日(土)開催予定です。

